

狭山ニュータウン地区のまちづくりの展望について

花田要望：狭山ニュータウン地区の活性化には、学校教育、社会教育等に力を入れていくことも必要である。市長部局並びに教育委員会が、一丸となって取組むよう要望する。

コード化点字ブロックについて

花田要望：視覚障がい者への施設案内だけでなく、観光や商店案内、非常時の避難情報も提供できる。また、既存の点字ブロックを加工することができ、電源供給やＩＣチップなどの保守が不要であることから、新設設置、保守が安価で行える等の利点があるため、設置を要望する。

デジタル回覧板について

花田質問：自治会・地区会の加入率が低下している状況の中で、運営は役員の負担増となっており、効率化は必須である。公式ＬＩＮＥやスマートフォンアプリなどを用いて、デジタル回覧板を導入する自治体も増えている。

答弁：市から自治会等への回覧板による情報伝達の依頼については、課題があることは認識している。自治会等における地域活動のデジタル化実証事業などの動向に注視していく。

花田要望：地域活動のデジタル化に取り組む自治会・地区会等への補助を要望する。

その他、令和４年度決算について質問いたしました。



令和５年 ９月議会 代表質問

家族性高コレステロール血症（FH）の早期発見を

花田質問：遺伝子の異変が原因で、新生児から悪玉コレステロールの値が高くなる遺伝性の疾患であり、若年から動脈硬化が進行し、心筋梗塞や狭心症を引き起こすとされている。本市の取組と、学校健診を活用した早期発見の取組について。

答弁：市のホームページでＦＨの情報掲載、知識の普及啓発、また保健だより等を活用し、生活習慣病などの健康の影響について、啓発を行っていく。

花田要望：１５歳以上では、アキレス腱肥厚と早発性冠動脈疾患の家族歴があれば、ＦＨと診断されることから、保護者に対して注意喚起を行うことや、学校健診時に簡易血液検査を用いることを要望する。

学校トイレの快適化について

花田質問：市内小中学校の洋式便器の割合、洋式への計画的な交換、温水洗浄便座の設置について。

答弁：割合は７４．７％であり、施設の老朽化対策や大規模改修の際に、改修を進めている。温水洗浄便座は、ほぼ設置されていない。学校体育館の洋便器率は３８．１％と、和便器が大半を占めている。

花田要望：避難所として使用される、学校体育館の洋便器率の低さは驚きであり、家庭の温水洗浄便座の普及率は８０．３％であることから、児童・生徒が１日の大半を過ごす学校の洋便器化、温水洗浄便座の設置、体育館の洋便器化を優先的に進めるよう要望する。

ペット終活について

花田質問：飼い主は「いざというとき」、ペットの預け先や新たな飼い主を探す等、事前の準備は必要である。高松市では、早めのペット終活を行うため、チラシを配布している。

答弁：ペットとの暮らしのための４つの備えや、ペット用の終活メモなども参考に、ペット終活に関する情報を、市広報誌やホームページなどで周知啓発していく。

すべては、
大阪狭山の未来のために。



大阪狭山市議会議員 / 無所属

花田 まさふみ

活動報告 第6号

総務文教常任委員会
副委員長・委員長 歴任
予算決算常任委員会
副委員長・委員長 歴任
建築士、防災士、
大阪府被災建築物応急危険度判定士
会派「共創みらい」所属

御挨拶

令和５年４月の大阪狭山市議会議員選挙で当選し、２期目の任期を付託いただきました。

現在も継続しております多くの市民活動の経験と、１期目の議員活動経験を生かし、皆様の声を市政へ届けるべく、更に精進し邁進してまいります。

令和５年度は、予算決算常任委員会委員長を拝命いたしました。会派は所属議員も増え「みらい創新」から「共創みらい」へと新しくなりました。これからも、現役・子育て世代の代表としてだけではなく、人生の先輩であるご高齢の方々の思いを受けとめ、若者や女性も活躍できる大阪狭山市を目指し、粉骨砕身尽力してまいりますので、より一層のご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

これからも「すべては、大阪狭山の未来のために。」誠実に！熱く！まっすぐに！尽力してまいります。



所属会派・委員会

○所属会派「共創みらい」 ○予算決算常任委員会委員長 ○総務文教常任委員会委員 ○議会改革特別委員会委員 ○狭山ニュータウン再生調査特別委員会委員 ○南河内環境事業組合議会議員

令和５年 12月議会 個人質問

犯罪被害者等支援条例の制定について

答弁：令和4年6月定例月議会において、「大阪府下の全ての市町村に犯罪被害者等支援条例の制定を求める要望」が議員全員一致で採択され、支援の必要性を十分理解している。引き続き、大阪府に対しても要望していく。

災害に強いまち大阪狭山市をめざして

花田質問：自らの命を自らが守る自助とともに、コミュニティレベルでの住民や企業などによる自発的な防災活動の共助は、防災・減災において大変重要である。地区防災計画に関する本市の取組と、策定の課題について。

答弁：地域一時避難場所運営の補助を創設し、11組織の自主防災組織に、地域一時避難場所運営計画書を作成していただいた。市としては、主に小学校区を対象とした避難所単位で、避難所設置訓練や運営訓練などを実施し、防災意識の高揚、地域防災力の向上を図り、地域住民が共有意識を持ち、自主的に地区防災計画をつくり上げていくことができる環境づくりに努める。

花田要望：地域一時避難場所運営の補助創設は、私が求めていたものである。11組織の自主防災組織が、地域一時避難場所運営計画書を作成していただいていることは大変喜ばしく、関係各所の皆様のご尽力に感謝する。

放課後児童会への長期休業中の昼食提供について

花田質問：放課後児童会では、夏休みなど学校が長期休業中は給食がなく、昼食は各家庭から持参している。希望者に昼食の提供サービスを行えないか。

答弁：提供サービスを利用している他自治体では、事業の継続に苦慮しており、提供サービスの導入は、現時点では難しい。

コンビニ交付は手数料減額を

花田質問：住民票の写しなどをコンビニで取得できる交付サービスの手数料を減額することによって、利用率の向上が見込め、市民窓口の混雑緩和に寄与できると考える。

答弁：マイナンバーカード交付率の状況を踏まえ、実証実験的に期間を定めて実施した上で、コンビニ交付の促進による窓口業務の負担軽減などの費用対効果を検証していく。

☆コンビニ交付サービスでの証明書交付手数料が、令和7年8月31日まで100円減額され、200円となりました！

令和5年3月議会 代表質問

令和5年6月議会 個人質問

地域幸福度指標について

花田質問：デジタル庁が進めている、デジタル田園都市国家構想では、地域全体の幸福度を示す指標として、LWC指標の活用が推奨されている。LWC指標とは、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感」を指標で数値化・可視化したもので、今後の政策立案に役立てるべきと考える。

答弁：まちづくりの成果が効果的に見て取れる指標等について、調査・研究していく。

花田要望：LWC指標の活用により、市民アンケートによる施策の満足度等の設問について、幸福感を高める因子が可視化され、市民が幸福感を得られる未来を起点に構想する、バックキャストングを用いた施策の組立てができる。市民一人ひとりの幸福感を高める施策の推進を要望する。

タブレット端末の活用について

花田質問：タブレット端末を活用した児童生徒向け悩み相談やメンタルヘルスを把握するシステムについて、本市の見解を伺う。

答弁：児童生徒の悩み相談やメンタルヘルスの把握は、子どもたちの健やかな学びと育ちにとって大切であると認識している。昨年度よりスクリーニングシステムを導入し、児童生徒の状況把握に努めている。

おたふく風邪ワクチン接種の助成について

答弁：過去に混合ワクチンが定期接種化されたが、無菌性髄膜炎の合併症の発生により中断されている。市として任意接種への費用の助成はしていないが、国に対し、早期の定期接種化を要望している。

☆ 毎朝の見守り活動が1700日（8年半）を超えました ☆



2015年5月から開始した毎朝の見守り活動が、2023年12月22日で1700日を迎えました。見守り活動は、地域の皆様のご協力、現在も継続していただいております。心から感謝申し上げます。自転車で通学する学生や、通勤される方々からもご挨拶をいただき、毎朝の見守り活動と凡事徹底の大切さを実感しています。また、従前より長期にわたり見守り活動を行っていただいている皆様に、重ねてお礼申し上げます。



全国都市問題会議に出席



全国市議会議長会研究フォーラムに出席



自治体総合フェア研修



南河内環境事業組合議会研修



●プロフィール

花田全史(はなだ まさふみ) 1971年10月生まれ
府立東百舌鳥高等学校、大阪工業技術専門学校 卒業
建築士、防災士、大阪府被災建築物応急危険度判定士
会派「共創みらい」所属

●情報発信

Facebook 花田まさふみ事務所 @HanadaMasafumi
Facebook 花田まさふみ @MasafumiHanada1971
Twitter 花田まさふみ @H_Masafumi
HP <http://hanada-sayama.wixsite.com/home>



●お気軽にどうぞ！

日頃の困りごと、市政への疑問や不満など、なんでもご相談ください。
電話 072-368-1153 Eメール hanada@osaka.nifty.jp
〒589-0002 東野中2丁目1056-12
発行元:大阪狭山市議会議員 花田全史 / 企画・編集・デザイン:花田全史

